

	英国	ドイツ	日本
F T タウン数	436	723	6
F T タウン	Garstang (Lancashire) ※2000.4 Bristol(Bristol) ※2005.3 Birmingham (Birmingham) ※2005.11 Glasgow (Glasgow) ※2006.3 East Dunbartonshire (East Dunbartonshire) ※2007.10 Cardiff (Cardiff)※2004.3 はじめ436	Saarbrücken(Saarland) ※2009.4 Bonn (North Rhine-Westphalia) ※2010.11 Frankfurt am Main (Hessen) ※2011.1 Dresden (Saxony) ※2017.5 Berlin(Berlin) ※2018.11 Munich (Munich) ※2021.7 はじめ723	熊本市 (熊本県) ※2011.6 名古屋市 (愛知県) ※2015.9 逗子市 (神奈川県) ※2016.7 浜松市 (静岡県) ※2017.11 札幌市 (北海道) ※2019.6 いなべ市 (三重県) ※2019.9
市場規模 (2020年)	約10億ポンド (2020年) (参考 約2,500億円 ※2017年)	約19.5億ユーロ (2020年) (参考 約1,680億円 ※2017年)	131億3千万円
活動事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード製品の使用や、フェアトレードを支援している、市内および周辺地域の地元企業や団体の取り組みを表彰している (<a href="#">プリストル市</a>)</li> <li>・学校のカフェテリアで、年間を通してフェアトレードのバナナやフルーツジュースを提供 (<a href="#">東ダンバートンシャー市</a>)</li> <li>・サフォーク州の一部の学校では、フェアトレードについて理解を深めるため、Zoomを利用し、ケニアのフェアトレード農家と学生間で交流事業を実施 (<a href="#">サフォーク州</a>)</li> <li>・フェアトレード認証を受けている製品を調達するよう推進(<a href="#">ダンフリース・アンド・ギャロウェイ・カウンシル</a>)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町主催のイベント時、フェアトレードコットンを使用したテーブルリンネンを使用 (<a href="#">ディンスラーケン町</a>)</li> <li>・フェアトレード認証のコットンを使用した作業着を使用。できるだけ多くの分野でフェアトレード認証を受けている製品を調達するよう推進 (<a href="#">ジーゲン市</a>)</li> <li>・市民への啓発のため、フェアトレード・ワールドの地図をラッピングした、世界初のフェアトレードバスを導入 (<a href="#">ノイウィード市</a>)</li> <li>・シュタインフルト区では、子どもたちへの啓発のため、フェアトレードに関する絵本を出版。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード食材を給食に導入 (名古屋市、逗子市)</li> <li>・公共調達基準にF T 認証を導入 (名古屋市)</li> <li>・市有施設内にフェアトレードカフェ・ショップ設置 (熊本市)</li> <li>・フェアトレード製品 (コーヒー・チョコ等) の販売やファッションショー等のイベント、フェアトレードセミナーを市や民間団体、地域国際協会と協働して実施している。(熊本市、札幌市)</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード認証製品国内市場は約10億ポンド(2020年)。コロナウィルスによるロックダウンの影響が大きく、大幅に減少した。(2019年：16.7億ポンド)</li> <li>・フェアトレード認証商品 約6,000</li> <li>・フェアトレードスクールの数 1,016</li> <li>・フェアトレードユニバーシティの数 12</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード認証製品国内市場は約19.5億ユーロ (2020年)。フェアトレード認証を受けた商品が増え、継続的な成長が見られた一方で一部地域ではロックダウンの影響で消費が減少した。(2019年：約20億ユーロ)</li> <li>・フェアトレード認証商品 約7,700</li> <li>・フェアトレードスクールの数 775</li> <li>・フェアトレードユニバーシティの数 32</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード認証製品国内市場は世界市場と比較して小さい</li> <li>イギリス 約2,550億円-日本の21倍以上</li> <li>ドイツ 約1,680億円-日本の14倍以上 ※2017年調べ</li> <li>・フェアトレードスクールの数 0</li> <li>・フェアトレードユニバーシティの数 4</li> </ul>

<Link UK> <https://www.fairtrade.org.uk/get-involved/in-your-community/communities/>

<Link Germany> <https://www.fairtrade-towns.de/aktuelles>

※ 英国のフェアトレードタウン数については、ホームページ上では427と記載してあるが、最新の数は上記の436である。(出典：Fairtrade UK 事務局)

※ フェアトレードタウンについては、「町の知名度」や「日本のFTタウンと類似の人口規模」を考慮し、選定した。

※ 「フェアトレードスクール」とは、小・中・高校を対象に、学校全体でフェアトレードの推進に取り組んでいる学校を認証するもの。日本ではまだ導入されていない。

※ 「フェアトレード大学」とは、大学全体でフェアトレードの推進活動に取り組んでいる大学を認証するもの。